

今月のよっしー

朝晩がすっかりと冷え込んできました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？
今秋は当講座、宮崎県全体にとって本当に熱いシーズンになっています。延岡の吉田さんも述べられていますが、地域包括ケア実習が全県下でスタートしました。第1期生が不安な表情で出発したのに、帰ってきたときは本当にイキイキとした表情で発表してくれたのを見たときは「なんだ（涙）」が出そうになりました。これも全て皆様のおかげです。先日宮崎大学が受審した医学教育認証でも高く評価された取り組みだとして講評の中でも言及していただきました。全ての関係する皆さまに感謝です！



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介「延岡市地域医療対策室」

延岡市地域医療対策室 総括主任 吉田 昌史 氏

延岡市は全国市町村“初”の「延岡市の地域医療を守る条例」を平成21年に制定し、『医療者が働きたい街No.1』を目指して、地域医療の充実と健康長寿のまちづくりに取り組んでいます。県北地域では、平成28年度に吉村先生と「クリクラⅠ地域医療学実習」受け入れの協議を重ね、平成29年度の実習受け入れ開始に伴い、医学生への実習費用の助成を開始しました。そして、ついに今年10月末には、4週間医学生を地域に出す画期的な実習『クリクラⅡ地域包括ケア実習』が



▲吉田氏（一番左）



▲県北地区の医療機関行脚の様子

始まりました。短期間でここまでの実習を開始できたのが信じられませんが、吉村先生始め講座のみなさん、医師会、行政関係者が「地域で医師を育てるんだ」という熱い思いを共有できたからではないかと思います。

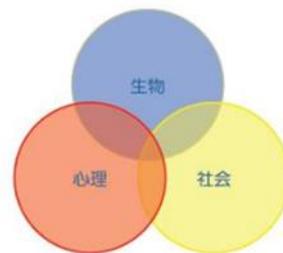
延岡市では県立延岡病院、医師会の全面的な協力により10医療機関が参加していただき、本当に感謝しています。始まったばかりでまだまだ手探りの状況ですが、『延岡で実習を受けて良かった』と言われるように関係者一丸となり、より良い地域包括ケア実習に育てていきたいと思っています。今年の一歩が将来の宮崎県の地域医療の充実に繋がることを信じています。

総合診療 Tips ～このコーナーでは総合診療にまつわる豆知識などをお伝えします～

第3回 「生物心理社会モデル（BPSモデル）」

近代の医学は人間の病気の原因を臓器や細胞に求め、病因⇒疾患という直線的因果関係でとらえる生物医学モデルをベースにして進歩してきました。ただし医療を提供するときにこのモデルを当てはめすぎると、個々の患者の心配や価値観、ユニークな人生、対人関係、社会的な問題などは無視されがちになります。

それでは解決できない問題へアプローチするモデルとして、生物、心理、社会的な要因のシステムとして人間の疾患や病いをとらえる生物心理社会モデルが提唱されました（1977年）。問題に対してどう感じたり考えたりしているか、生活にどう影響しているか、医療に何を期待しているのかといった事（解釈モデル）などを聞くことで、身体だけでなく心理社会的な情報も得ます。生物・心理・社会の領域を統合して考え、さまざまな関係性を意識しながら、焦点を当てるべきポイントを探り、多面的なケアを提供します。例えば頭痛で受診した患者さん、真の受診理由が「クモ膜下出血が心配」ということだと分かれば、説明の仕方が変わり、患者満足度も変わるというのもアプローチの第一歩です。



みやざき総合診療オータムセミナーを開催しました。

10月14日(日)、宮崎市の若草HUTTE&co-ba Miyazakiにおいて、みやざき総合診療オータムセミナーを開催しました。今回は「総合診療専門医には何が求められ、どんな研修をしているのか」をサブタイトルに、第1部：基調講演「頴田病院での家庭医療・総合診療研修」、第2部：「ポートフォリオ発表・検討会」、第3部：CSA (Clinical Skills Assessment) 体験という内容で開催しました。

第1部の基調講演では、福岡県の頴田病院より指導医の金弘子先生・専攻医の安田雄一先生にお越しいただき、どのような研修を行っているのかを具体的に紹介していただきました。九州の家庭医療・総合診療研修をリードするプログラムの一つであり、参考になるお話がたくさんありました。宮崎の地でのプログラムづくりに、良いところは取り入れていきたいと思えます。また、オンラインによる専攻医のポートフォリオ作成支援を目的に設立された「Kyusyu Okinawa Portfolio e-learning (KOPE: コペ)」の紹介もありました。

CSA体験では、参加者や外部講師の方々にも医師役・患者役・評価者役として、積極的に参加してもらいました。講師の先生方、参加いただいた皆さん、ありがとうございました。次回は年明け、1月12日にウインターセミナーを開催する予定です。ぜひご参加ください。



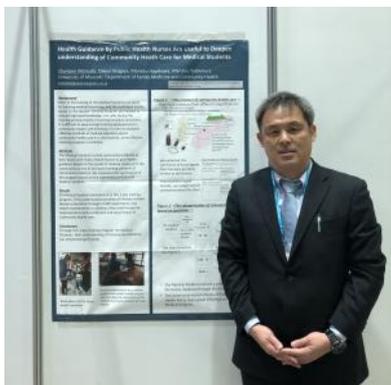
WONCA 2018 SEOULに参加しました。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座 専攻医 川野 綾子

2018年10月17日～21日、韓国ソウルにてWONCA(World Organization of Family Doctors, 世界家庭医療学会) World Conference of Family Doctorsが開催されました。本学術会議ではPrimary Care in the Future: Professional Excellenceをテーマに家庭医たちを育成・支援する企画が充実しており、私は10月19日、20日の2日間参加させていただきました。

ワクチンの重要性やがんサバイバーとの付き合い方、訪問診療、禁煙、虐待といった日々の診療に直結するトピックが多く非常に勉強になりました。また多くのセッションで、地域の現状や健康問題を的確に把握し、目先の問題ばかりでなく将来的に改善すべき点を抽出すること、エビデンスに基づいて介入を行い評価すること、コストパフォーマンスを考慮することに言及していたことが印象的でした。地域の一員としてシステムを構築し多面的な視点や想いをまとめる姿は各国共通のものであり、家庭医の仕事は病気を治療することだけではないと改めて学ぶことができました。

日本から参加した家庭医の方々とも交流させていただき、先達の尊さ、仲間の素晴らしさ、家庭医療の盛り上がりを感じた2日間でした。地域と共に在る家庭医になるために、今後はより一層の精進を重ねる所存です。貴重な学びの機会を与えていただきありがとうございました。



▲松田俊太郎先生によるポスター発表も行いました。



▲会場内の様子

講座のイベント情報

- レジデント・デイ
11/30(金) 18:00～ 場所：串間市民病院
- 地域医療を支える人材育成講演会
12/8(土) 14:00～ 場所：延岡市
★主催：宮崎県北部広域行政組合
- ウインターセミナー
1/12(土) 午後 場所：串間市

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiryoy@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

